

平成30年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補**・県単

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]		事業箇所	大月市猿橋町朝日小沢 (サルハシマチ アヒカガリ)	地区名	小沢川(材*カ*)の1	事業主体	山梨県				
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)							
	H20~H25	H20~H30	H20~H33									
総事業費	270 百万円	305 百万円	440 百万円		①地域・住民の意向状況 なし ②産業・経済情勢 平成21年11月30日に土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」が当溪流に指定された。 ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月策定) ⑤自然環境条件等 平成29年の台風による豪雨で溪流内の荒廃が進行。 ⑥その他 なし							
(1) 事業の概要												
①事業目的及び効果												
本溪流は、大月市猿橋町朝日小沢地内に位置し、相模川水系の一级河川小沢川に流入する流域面積1.82km ² の土石流危険溪流である。流域内は溪岸の崩壊や浸食が進行し、溪床に不安定土砂が堆積しているため、今後の台風や集中豪雨時には土砂流出による土石流発生の危険が高まっている。これに対応するため、土石流を防止する砂防堰堤を早急に整備し、土砂災害の防止を図るものである。												
<input type="checkbox"/> 主要目標 ○土石流被害の防止 土砂整備率 0%→100%												
<input type="checkbox"/> 副次目標 -												
<input type="checkbox"/> 副次効果 ○飲雑用水の安定供給 (簡易水道施設の保全)												
②事業概要												
<input type="checkbox"/> 現計画 砂防堰堤 2基 <input type="checkbox"/> 変更計画 砂防堰堤 3基												
③全体計画												
		平成29年度まで	平成30年度 (評価実施年度)	平成31年度以降								
現計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償 砂防堰堤 1基	砂防堰堤 1基	/								
	事業費	245 百万円	60 百万円									
変更計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償 砂防堰堤 1基	砂防堰堤 1基	測量設計 用地取得・補償 砂防堰堤 1基								
	事業費	245 百万円	60 百万円	135 百万円								
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。												
④特記事項 (関連事業概要等)												
なし												
⑤これまでの評価状況												
なし												
(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]												
		項目	着手時点	変更計画時点								
		総事業費	270 百万円	440 百万円								
		工期	H20~H25	H20~H33								
		評価基準年	H19	H30								
経済 効 率 性	費用	費用	244 百万円	495 百万円								
		建設費	244 百万円	495 百万円								
		維持管理費	百万円	百万円								
			百万円	百万円								
		便益	988 百万円	1,699 百万円								
		一般資産被害軽減	370 百万円	376 百万円								
		公共土木施設被害軽減	214 百万円	197 百万円								
		人身被害軽減	402 百万円	89 百万円								
	その他※	2 百万円	1,037 百万円									
		B/C	4.1	3.4								
費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている ※その他は耕地、営業停止、応急対策(家計・自治体)、人的被害(精神的損失) ※平成24年の費用便益分析マニュアルの改定により、間接被害の便益を見込んでいるため総便益が大きくなっている												

2. 評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]	⑥変更計画の変更内容 (事業費)		
<p>①これまでの計画変更等の概要</p> <p><計画期間の延長(H25→H30)について> 詳細設計後に行った用地調査の結果、当初計画していた最下流堰堤の堆砂敷に所有者不明の土地が存在していることが判明。所在不明者の調査が必要となったため事業期間を延長。</p> <p><事業費の増について> 上記所有者不明土地の調査費及び、当初計画時に比べると資材単価や労務費が高騰しているため事業費が増加。</p>	変更工種等 測量設計 用地取得・補償 砂防堰堤 1基	事業費増減 135 百万円の 増	変更理由 平成29年に襲来した台風による豪雨により溪流内の荒廃が急激に進行し、当初の計画より多くの不安定土砂が存在することが判明したため。
<p>②進捗率</p> <p>別表のとおり。</p>	合計 135 百万円の 増		
<p>③事業進捗が順調でない理由</p> <p>なし</p>	<p>(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮]</p> <p>緑化等を行い環境負荷に配慮した計画とする。</p>		
<p>④今後の事業執行上の問題点</p> <p>平成29年は台風等による豪雨が頻発し、特に8月には台風5号の影響により大月市で線状降水帯が発生し、その線上において観測史上最大の時間雨量を記録した。大月市賑岡町浅利においては大規模な土石流災害が発生するなど土石災害が多発している。土石流発生箇所から5kmほどの距離にある当溪流においても、溪流内において崩壊地の拡大や倒木の発生など、荒廃が急激に進行していることが確認されたため、早急に対策を講じる必要がある。</p>	<p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</p> <p>透過型堰堤を採用することにより、不透過型堰堤に比べ効果量を多く確保することによって堰堤高を低く抑え、トータルコストの縮減を図った。</p>		
<p>⑤変更計画の進捗予定 (期間)</p> <p>工期を3年延長し、平成33年度完了を目指す。</p>	<p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</p> <p>なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続 見直し継続 その他 ()</p> <p>(理由)</p> <p>上流域の荒廃進行に対応した計画とするため、事業期間を3年延長し、総事業費を135百万円増額して、平成33年度の完成を目指す。</p>		

○別表-進捗率 (事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：%

	年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	*H30	H31	H32	H33
現	計画	7%	13%	23%	33%	39%	49%	59%	66%	72%	79%	100%			
	実績	4%	6%	7%	23%	43%	45%	46%	47%	64%	80%	100%			
変更計画												69%	78%	90%	100%

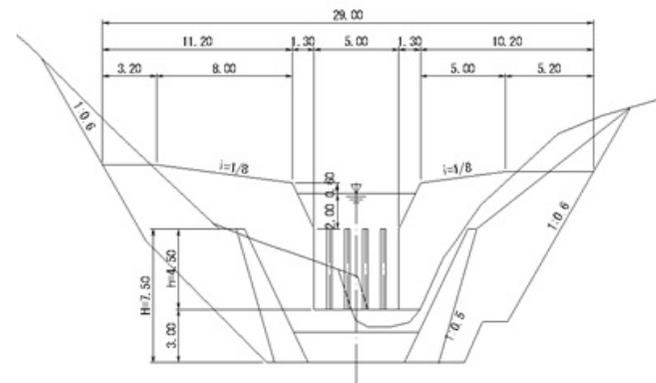
*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート (1)

位置図



3号堰堤 正面図



流域及び保全対象



保全対象近景



保全対象近景

朝日小沢公民館(地区避難所)



簡易水道施設



荒廃状況



荒廃状況



